

整理番号：18-2-05

## 医学系研究に関する情報公開について

西暦 2017 年 12 月 28 日作成

下記の研究は、福岡大学医の倫理委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。

インフォームド・コンセントを受けない場合において、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第 5 章 第 12.1 に基づき、以下の通り情報公開いたします。

研究課題名	晩期再発卵巣癌について
研究期間	病院長許可日～西暦 2019 年 12 月 31 日
研究責任者	福岡大学病院 婦人科・助教 勝田 隆博
試料・情報の収集期間	<input type="checkbox"/> ：新たな情報を取得する場合：病院長許可日～西暦 年 月 日 <input type="checkbox"/> ：既存試料・情報を利用する場合 ■ 後向き期間：西暦 1992 年 1 月 1 日から西暦 2019 年 12 月 31 日 <input type="checkbox"/> 前向き期間：病院長許可日～西暦 年 月 日
研究対象者	当院産婦人科で卵巣癌の晩期再発と診断され治療を行った方
研究の意義と目的	卵巣癌は初回治療後臨床的寛解に入っても高率に再発をきたしうるが、無病生存期間 5 年以上後の再発は稀である。今回我々は初回治療開始後から 5 年以上の期間を経て再発を認めた症例を研究し、再発時の特徴、再発後の治療、予後などに関して調査を行い晩期再発卵巣癌の特徴、予後、有効な治療法について検討する。この研究を通し晩期再発卵巣癌の特徴を明らかにしてゆくことは、今後の卵巣癌治療において重要であると思われる。
研究の方法	対象は、当該年度において、臨床診断、切除標本や生検により病理診断された卵巣癌、卵管癌、腹膜癌の症例とし、初回治療開始後から 5 年以上の期間を経て再発を認めた症例とする。研究の許可を得た後、臨床情報を診療録より取得する。
研究に用いる試料・情報	【情報】：診療録、検査データ、画像データ など
外部への試料・情報の提供	■無 <input type="checkbox"/> 有 ⇒ 提供先の研究機関名： 提供先の情報管理責任者：
外部からの試料・情報を利用	<input type="checkbox"/> 無 ■有 ⇒ ■：当研究機関では特定の個人を識別することができない □：当研究機関では特定の個人を識別することができる
情報管理責任者	福岡大学病院 婦人科・助教 勝田 隆博

研究のための試料・情報を利用する者	<p>当院：医の倫理委員会で承認され病院長から許可された研究者</p> <p>他施設：各施設の倫理委員会で承認され研究機関の長から許可された研究者</p>
個人情報の保護	<p>収集した試料・情報は、匿名化(どのデータが誰のものか分からなくすること)した上で本研究に利用します。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
研究協力の任意性と撤回の自由	<p>この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究に参加を希望されない方(患者さん自身がすでに亡くなられている場合にはそのご家族)は下記の問い合わせ先へご連絡ください。患者さんの試料・情報を本研究に利用しません。ただし、ご連絡を頂いた時点で、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、試料・情報を削除できないことがあります。不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡ください。この研究への試料・情報の利用を断っても、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。</p> <p>また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について	<p>患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。試料・情報の利用または提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
問い合わせ先	<p>福岡大学病院 産婦人科</p> <p>担当者:松原 聡美</p> <p>電話 092-801-1011(代表)</p> <p>(対応可能時間 平日 8:50~16:50)</p>